

平成 27 年度に終了した研究課題の研究成果の活用度に関する
アンケート調査（フォローアップ調査）

機関名		担当者名	
電話番号		e-mail	

平成 28 年度に実施した「平成 27 年度に終了した研究課題の研究成果の活用度に関するアンケート調査」において、平成 27 年度終了課題の活用状況についてお伺いしておりますが、本調査は、そのフォローアップ調査となります。

本調査では、その後の活用状況等についてお伺いさせていただきます。

※本様式をダウンロードしてメールで御回答、あるいはこの調査用紙に直接書き込んで Fax 等で御回答ください。

※該当する番号の□にチェック（レ、■等）を入れてください。

※Word ファイルの場合は該当する番号の□をクリックして、チェック☑を入れてください。

①平成 27 年度に終了した研究課題について、研究成果報告書サマリー集や研究成果（別紙 1 参照）を貴機関でご覧になりましたか？

- 1. 読んだ
- 2. これから読む予定
- 3. 読んでいない（その理由をお聞かせください）

--

*研究成果報告書サマリー集は、同封している冊子です。

なお、下記にも掲載しています

研究成果報告書サマリー集（平成 27 年度終了課題）

<http://www.nise.go.jp/cms/7,11935,32,133.html>

<p>①で 1. を選択した場合は②へ、それ以外（2. 又は 3. ）を選択した場合は⑥へお進みください。</p>

- ②平成 27 年度に終了した研究課題について、研究成果報告書サマリー集や研究成果（別紙 1 参照）の内容は、例えば下記のような場面で用いられ、貴機関や学校等での課題の改善に活用できましたか？

活用の場面

研修会やセミナー
所管する学校・教職員への情報提供
関係機関（医療、保健、福祉、教育、労働等）への情報提供
政策推進に当たっての参考資料
研究の参考資料
地域住民への情報提供 など

1. 活用できた
 2. 具体的に活用する予定がある
 3. 具体的に活用する予定がない

- ③（上記②の設問で 1～2 を選択した方へ）別紙 1 にお示しする「平成 27 年度終了研究課題に関する研究成果」の中で、とくに活用できた、あるいは活用する予定がある研究成果について、別紙 1 の研究課題の番号（①～⑨）でお答えください。（複数回答可）

回答欄 []

- ④（上記②の設問で 1～2 を選択した方へ）どのような場面で活用できましたか、あるいは活用する予定ですか？（複数回答可）

1. 研修会やセミナー
 2. 所管する学校・教職員への情報提供
 3. 関係機関（医療、保健、福祉、教育、労働等）への情報提供
 4. 政策推進に当たっての参考資料
 5. 研究の参考資料
 6. 地域住民への情報提供
 7. その他（ ）

- ⑤（上記②の設問で 3 を選択した方へ）活用する予定がない理由をお聞かせください。（複数回答可）

1. 研究成果の内容が貴機関や学校等での課題に対応していない。
 2. 研究成果のまとめ方や示し方が活用には適していない。
 3. 研究成果の内容が活用には適していない。
 4. 研究成果の内容が分かりづらい。
 5. その他（下記に理由をご記入ください）

（次ページへ続く）

⑥活用しやすい研究成果について、どのような工夫があれば研究成果が活用しやすいか（研究の内容やまとめ方、示し方等）、②の活用の場面を参考に、ご意見をお聞かせください。

⑦以上の他、次年度以降の当研究所の研究活動の改善に向けて、ご意見がございましたらお聞かせください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

平成 27 年度終了研究課題に関する研究成果

平成 27 年度

【国や地方公共団体の施策に対応する横断的な領域における研究課題（専門研究 A）】

- ① **教育課程**：今後の特別支援教育の進展に資する特別支援学校及び特別支援学級における教育課程に関する実際的な研究（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12373,32,142.html>
- ② **インクルーシブ教育システム**：インクルーシブ教育システム構築のための体制づくりに関する研究－学校における体制づくりのガイドライン（試案）の作成－【中期特定研究（インクルーシブ教育システムに関する研究）】（平成 27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12444,32,142.html>
- ③ **ICT・AT**：障害のある児童生徒のための ICT 活用に関する総合的な研究－学習上の支援機器等教材の活用事例の収集と整理－【中期特定研究（特別支援教育における ICT の活用に関する研究）】（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12446,32,142.html>

【現場の喫緊の課題に対応する各障害別の研究課題（専門研究 B）】

- ④ **視覚障害**：視覚障害のある児童生徒のための教科書デジタルデータの活用及びデジタル教科書の在り方に関する研究－我が国における現状と課題の整理と諸外国の状況調査を踏まえて－【中期特定研究（特別支援教育における ICT の活用に関する研究）】（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12447,32,142.html>
- ⑤ **聴覚障害**：聴覚障害教育における教科指導及び自立活動の充実に関する実践的研究－教材活用の視点からインクルーシブ教育システム構築における専門性の継承と共有を目指して－（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12439,32,142.html>
- ⑥ **肢体不自由**：小・中学校に在籍する肢体不自由児の指導のための特別支援学校のセンター的機能の活用に関する研究－小・中学校側のニーズを踏まえて－（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12420,32,142.html>
- ⑦ **病弱**：インクルーシブ教育システム構築における慢性疾患のある児童生徒の教育的ニーズと合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12409,32,142.html>
- ⑧ **自閉症**：特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する研究（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12406,32,142.html>
- ⑨ **発達障害**：発達障害のある子どもの指導の場・支援の実態と今後の指導の在り方に関する研究－通級による指導等に関する調査をもとに－（平成 26～27 年度）、<http://www.nise.go.jp/cms/7,12372,32,142.html>

研究成果報告書以外の研究成果物リスト

(平成 30 年 2 月現在)

次の表は、当研究所の研究成果報告書以外の近年の成果物としての、研究成果に基づく書籍、リーフレット等のリストです。このリストは前年度の調査時にもお示ししていますが、その時点以降の研究成果物が追加されています。

こうした研究成果物もご活用いただけると幸いです。

1. 書籍

知的障害	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程の編成 (株)ジース教育新社, ISBN 978-4863714465 平成 30 年 2 月
インクルーシブ教育システム	インクルーシブ教育システム構築に向けた地域における体制づくりのグランドデザイン—文部科学省モデル事業等の実践を通じて— (株)東洋館出版社, ISBN978-4-491-03374-7 平成 29 年 7 月
インクルーシブ教育システム	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブック—全ての教員で取り組むために— (株)東洋館出版社, ISBN978-4-491-03373-0 平成 29 年 7 月
病弱	病気の子どもの教育支援ガイド (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-406-9 C3037 平成 29 年 3 月
重複障害	手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ「ぱれっと (PALETTE)」—子どもが主体となる教育計画と実践をめざして— (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-372-7 平成 28 年 9 月
知的障害	育成を目指す資質・能力をはぐくむための知的障害教育における学習評価の実践ガイド—学習評価の 9 実践事例を踏まえて (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-384-0 C3037 平成 28 年 9 月
肢体不自由	特別支援学校(肢体不自由)におけるアシスティブ・テクノロジー活用のためのガイド—組織的な取組の促進をめざして— (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-286-7 平成 26 年 11 月
インクルーシブ教育システム	すべての教員のためのインクルーシブ教育システム構築研修ガイド (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-249-2 平成 26 年 1 月
インクルーシブ教育システム	共に学び合うインクルーシブ教育システム構築に向けた児童生徒への配慮・指導事例—小・中学校で学習している障害のある児童生徒の 12 事例— (株)ジース教育新社, ISBN978-4-86371-250-8 平成 26 年 1 月

2. リーフレット

自閉症	特別支援学校(知的障害)に在籍する自閉症のある幼児児童生徒の実態の把握と指導に関する研究—特別支援学校(知的障害)での自閉症教育の取組に関する調査(速報)— http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/b_309.pdf 平成 29 年 3 月
重複障害	重複障害:みなさまの身近に視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんはいらっしゃいませんか? http://www.nise.go.jp/cms/news/detail.8.12961.html 平成 29 年 2 月
ICT・AT	特別支援教育で ICT を活用しよう http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf 平成 28 年 11 月
自閉症	自閉症のある子どもの自立活動の授業を組み立てる上での要点 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/385/20160826-113548.pdf 平成 28 年 8 月
知的障害	知的障害教育における組織的・体系的な学習評価の推進を促す方策に関する研究—特別支援学校(知的障害)の実践事例を踏まえた検討を通じて—

	http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/11392/20160224-112258.pdf 平成 27 年 5 月
知的障害	知的障害特別支援学級（小・中）の担任が指導上抱える困難やその対応策に関する全国調査結果リーフレット小学校版 https://www.nise.go.jp/cms/resources/content/8994/20140401-185559.pdf 平成 26 年 3 月
知的障害	知的障害特別支援学級（小・中）の担任が指導上抱える困難やその対応策に関する全国調査結果リーフレット中学校版 https://www.nise.go.jp/cms/resources/content/8994/20140401-185648.pdf 平成 26 年 3 月

3. ガイドブック

教育課程	小学校・中学校管理職のための特別支援学級の教育課程編成ガイドブックー試案ー http://www.nise.go.jp/cms/7,11519,32,142.html 平成 28 年 3 月
視覚障害	視覚障害教育用触察立体教材作成のための 3D プリンター活用ガイドブック http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/10825/20150916-154900.pdf 平成 27 年 3 月

4. ガイドライン

ICT・AT	デジタル教科書ガイドライン http://www.nise.go.jp/cms/7,9717,32,142.html 平成 24 年度～25 年度 専門研究 A 研究成果報告書「デジタル教科書・教材の試作を通じたガイドラインの検証ーアクセシブルなデジタル教科書を目指して」21～22 頁 平成 26 年 3 月
--------	---

5. 調査報告書

肢体不自由	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/20160307-190827.pdf 平成 28 年 1 月
教育課程	特別支援学校における教育課程の評価の現状と課題に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/7,11274,32,142.html 平成 27 年 10 月
自閉症	自閉症・情緒障害特別支援学級及び知的障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/20151020-175959.pdf 平成 27 年 10 月

6. その他冊子

聴覚障害	聴覚障害教育 Q&A ～聴覚に障害のある子どもの指導・支援～ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/11539/20160414-215751.pdf 平成 28 年 3 月
言語障害	「ことばの教室」ことはじめ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/10478/20150514-180955.pdf 平成 27 年 3 月
病弱	病弱教育支援冊子 http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryoku/byoujyaku/supportbooklet.html 平成 24 年 12 月
聴覚障害	軽度・中等度難聴児の指導・支援のためにー軽度・中等度難聴児をはじめて担当される先生へ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/126/b-270.pdf 平成 24 年 3 月